公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂香久山病院

かわら版 〔第343号〕

令和8年1月10日

総務課 広報担当

ISO 9001 ISO14001 認証取得病院
MS CM002
日本医療機能評価機構 認定第 LL20 号

年頭挨拶

院長 柴 信行

実効性の時代へ：変化を生きる私たちの新年

新年を迎えるにあたり、世界と日本の大きな転換を振り返りつつ、未来への希望を込めてご挨拶申し上げます
昨年10月に日本憲政史上初めて女性首相として高市早苗氏が就任し、新たな時代の幕が開きました。
米国ではトランプ大統領が再選を果たし、自国第一主義の旗を再び掲げ、国際協調やSDGsといった
理念の見直しが進んでいます。日本でも片山財務大臣がSDGs関連施策の再検証を表明し、
企業の中にはSDGsの看板を下ろす動きも見られるなど、世界全体が「理念」から「実効性」へと
価値観をシフトさせつつあります。

国内では医療・介護分野の課題が深刻化しています。令和6年度の日本医師会の調査では、病院の
約7割が赤字経営に陥っており、国立・公立病院では9割以上が赤字という厳しい現実が明らかです。
こうした状況は、診療報酬制度や病院の在り方そのものに変革が求められていることを示しています。
香久山病院でも職員一丸となって経営改善に取り組み、これまでの歴史を踏まえた改革を進めています。
また、福島県立医科大学リハビリテーション医学講座の林哲生教授のご高配により、昨年4月に
柏原裕樹医師が入職され、地域医療の未来を担う活躍が期待されています。さらに、AIの進展が
医療の仕組みやプロセスを根本から変えつつあります。未来の医療は、診断支援、カルテ解析、
業務の自動化など、AIが医療の質と効率を高め、持続可能な体制構築に貢献していくでしょう。

2026年は干支で「丙午」の年。情熱と変革を象徴するこの年にふさわしく、私たちも地域と世界の
調和を願い、変化を恐れず挑戦を続ける一年といたしましょう。新しい年が皆様にとって力強く、
希望に満ちたものとなりますよう心より祈念申し上げます。 生物誕生から約40億年が経過しました。
哺乳類が生き残った理由は、適応と進化の柔軟性があったからと指摘されています。少子高齢化の
進行、疾患構成の変化、新興感染症の台頭、進行する温暖化と気象条件の悪化など常に
世界は変化します。新しい年を始めるにあたって、われわれ医療者は変化に敏感に対応し、
プロフェッショナルとしての矜持を失うことなく、患者さんやご家族に誠実に寄り添っていきたいと思っています。